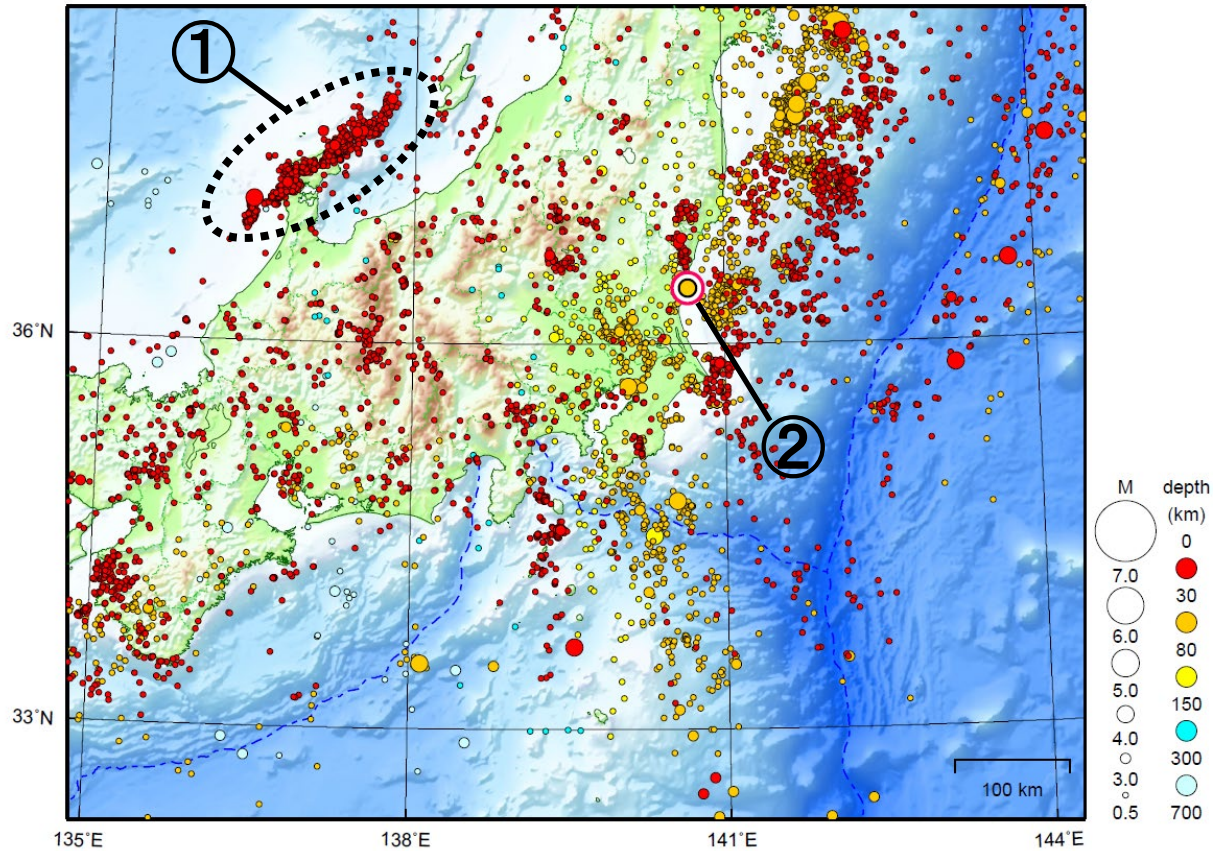


関東・中部地方

2025/06/01 00:00 ~ 2025/06/30 24:00

N=6818



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 「令和 6 年能登半島地震」の地震活動域では、6 月中に震度 1 以上を観測した地震が 7 回（震度 2：1 回、震度 1：6 回）発生した。このうち最大規模の地震は 6 日に発生した M4.3 の地震（最大震度 2）である。
- ② 6 月 25 日に茨城県沖で M4.2 の地震（最大震度 4）が発生した。

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2025年6月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

震源のプロット

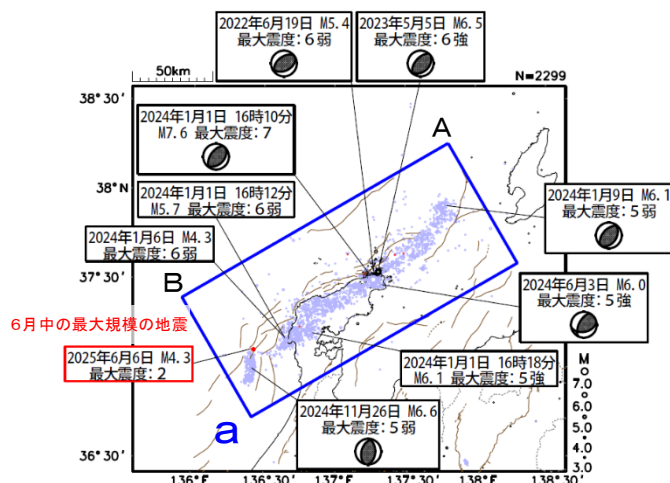
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～2025年5月31日

赤色 2025年6月1日～30日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び6月中の最大規模の地震

図中の発震機構はCMT解



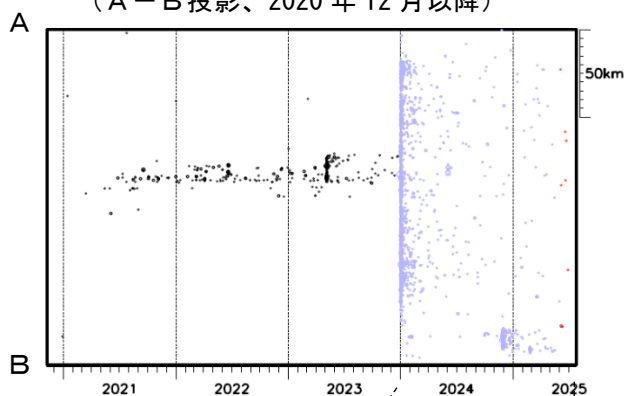
図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

能登半島では2020年12月から地震活動が活発になり、2023年5月5日には $M6.5$ の地震(最大震度6強)が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

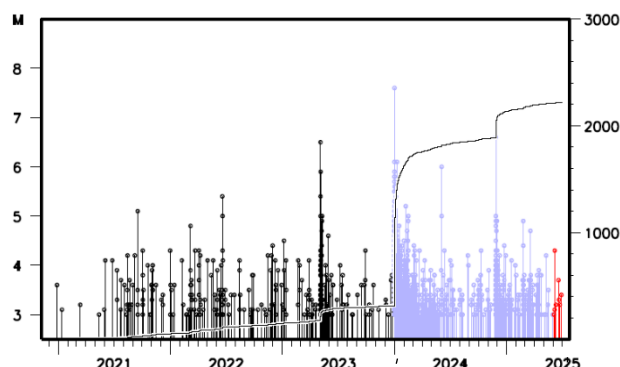
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ の地震(最大震度7)が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東－南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。 $M7.6$ の地震後の地震活動域の西端の石川県西方沖で、2024年11月26日に $M6.6$ の地震(最大震度5弱)が発生した。

地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的に緩やかに減少してきているが、6月中旬に震度1以上を観測した地震は7回発生するなど、活動は継続している。なお、6月中の最大規模の地震は、6日13時48分に石川県西方沖の深さ10kmで発生した $M4.3$ の地震(最大震度2)である。

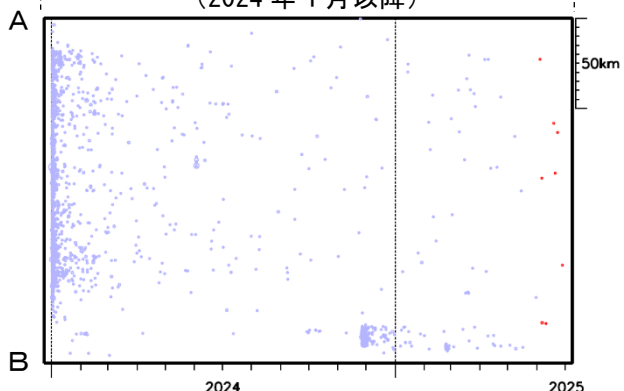
領域a内の時空間分布図 (A-B投影、2020年12月以降)



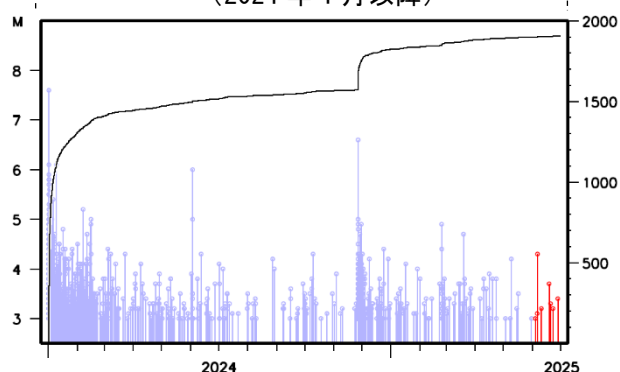
領域a内のM-T図及び回数積算図 (2020年12月以降)

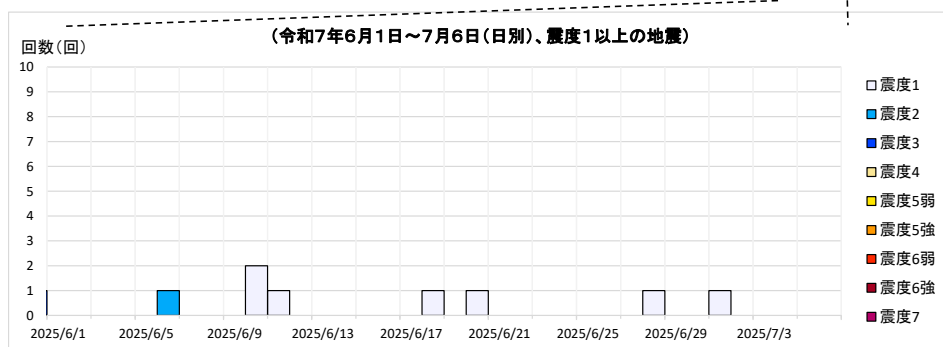
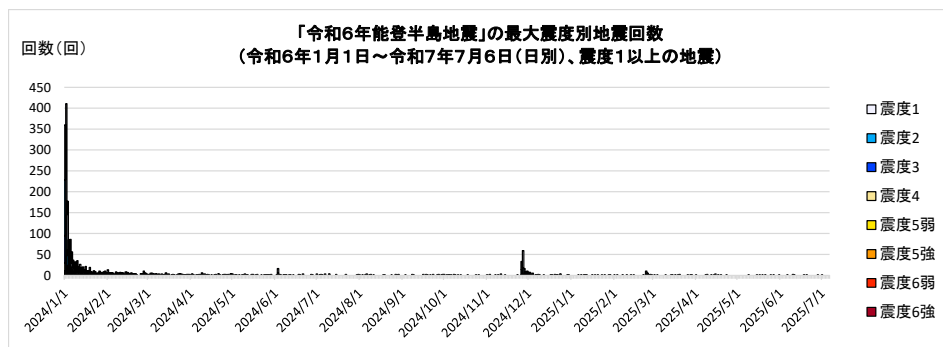


(2024年1月以降)

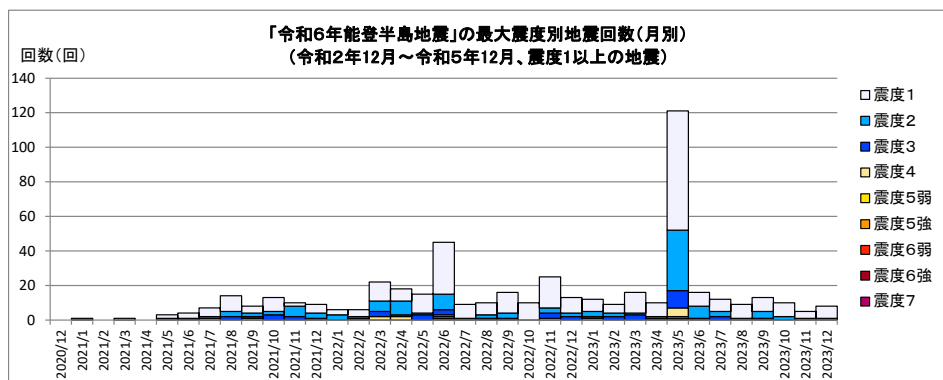


(2024年1月以降)





【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	70	70	0	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265	0	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	0	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0		506	0	

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 -30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 -31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1 -30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1-31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1-31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1-30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1-31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1-30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592	
2024/12/1-31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629	
2025/1/1-31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641	
2025/2/1-28	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	2666	
2025/3/1-31	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12	2678	
2025/4/1-30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2690	
2025/5/1-31	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2698	
2025/6/1-30	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2705	
2025/7/1-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2706	
総計(2020/12/1～2025/7/6)	1703	669	245	64	9	11	3	1	1		2706	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

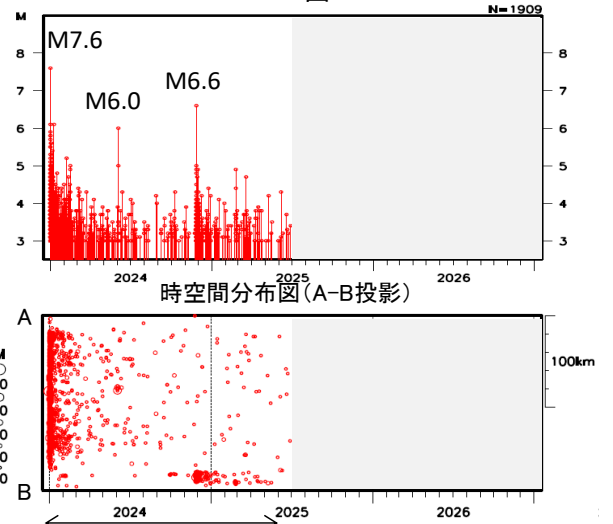
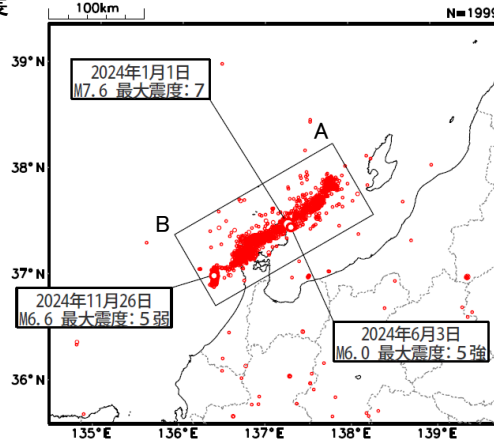
陸のプレート内で発生した過去の大地震との活動比較(36か月間)

M-T図

2024. 1. 1- M $\geq$ 3.0

令和6年能登半島地震

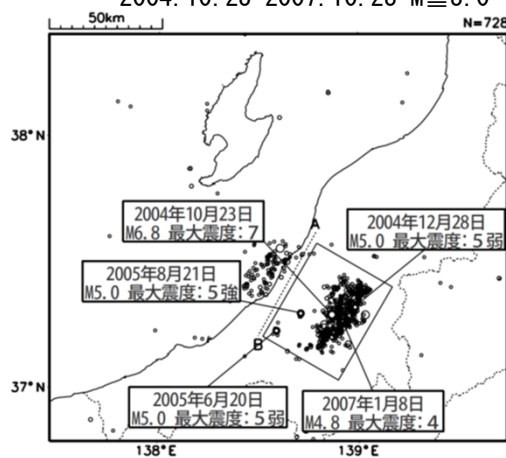
(M7.6, 最大震度7)



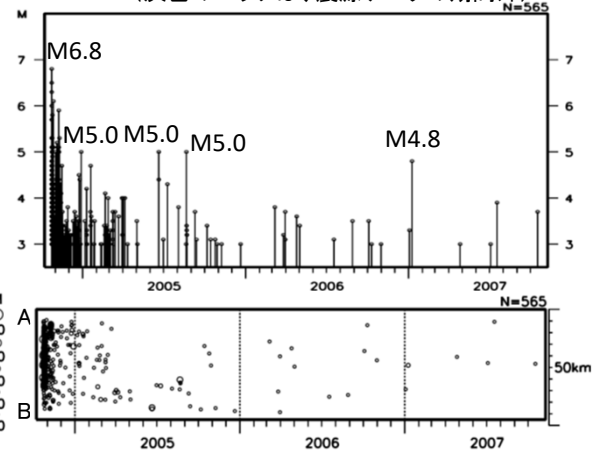
2004. 10. 23-2007. 10. 23 M $\geq$ 3.0

平成16年(2004年)
新潟県中越地震

(M6.8, 最大震度7)



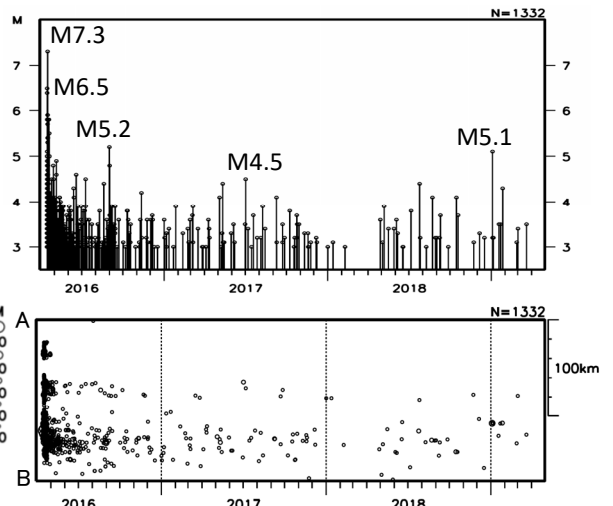
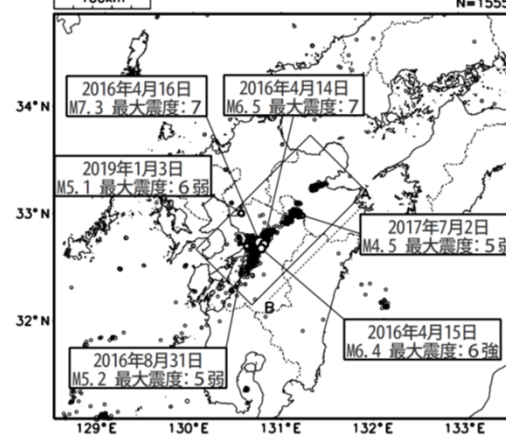
2024年1月1日~2025年6月30日
(灰色のハッチは、震源データの期間外)



2016. 4. 14-2019. 4. 14 M $\geq$ 3.0

平成28年(2016年)
熊本地震

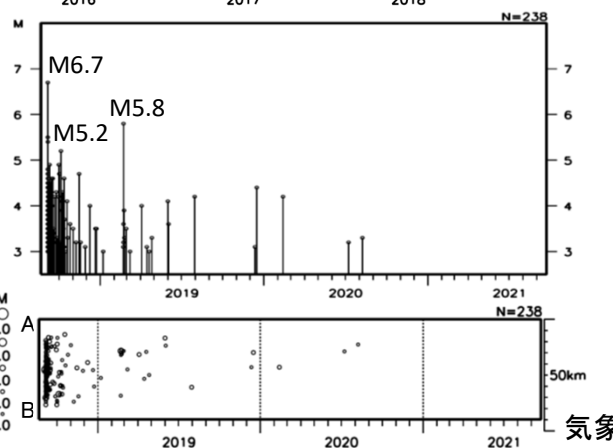
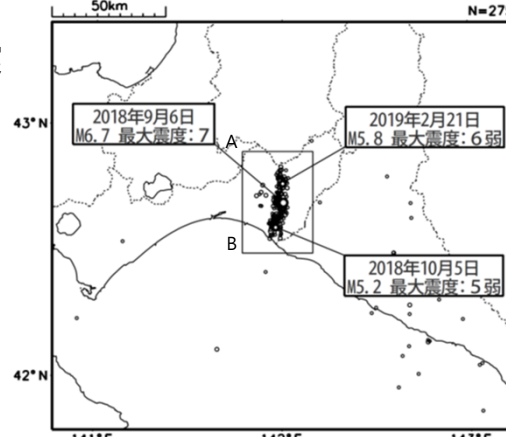
(M6.5, 最大震度7,
M7.3, 最大震度7)



2018. 9. 6-2021. 9. 6 M $\geq$ 3.0

平成30年
北海道胆振東部地震

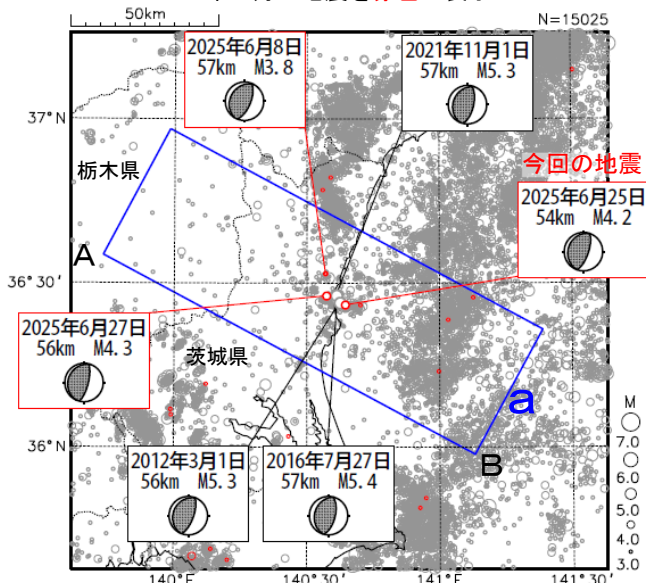
(M6.7, 最大震度7)



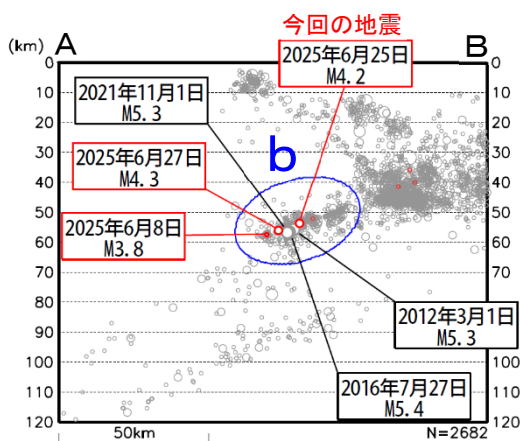
気象庁作成

6月25日 茨城県沖の地震

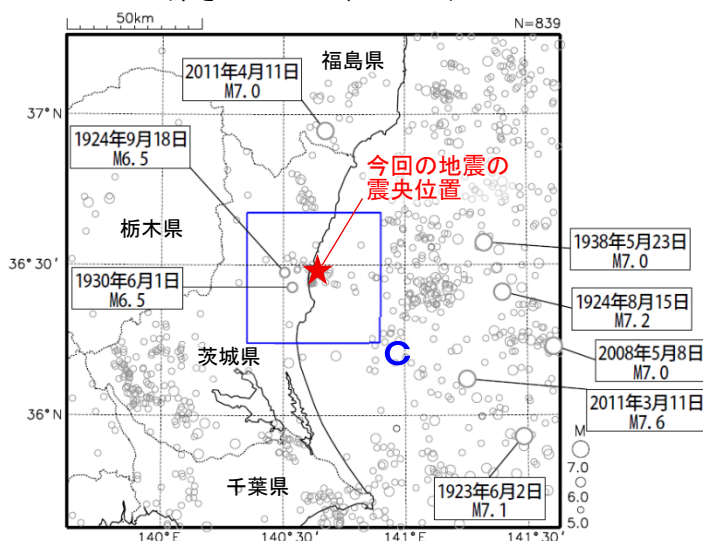
震央分布図
(1997年10月1日～2025年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2025年6月の地震を赤色で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2025年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

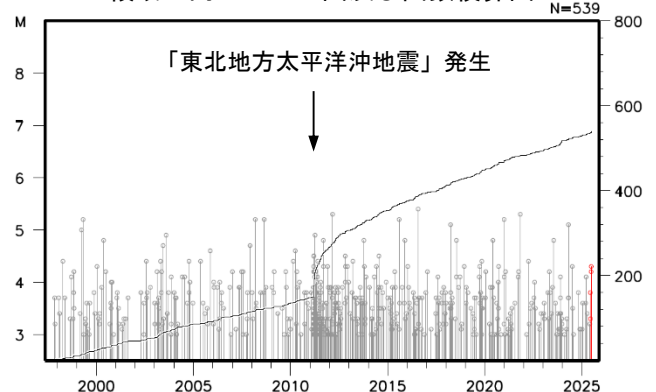


2025年6月25日13時51分に茨城県沖の深さ54kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、ほぼ同じ場所で6月8日にはM3.8の地震(最大震度3)、6月27日にはM4.3の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震(最大震度5弱)、2016年7月27日にはM5.4の地震(最大震度5弱)などが発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

